

懸物圖説
完

76
3147



2337

懸物圖鏡

十二月掛花藥玉某菓囊掛鏡掛角
魚香炉訶梨勒振くふの柱かきりの
くさくさ 十九品の香と志すす

不許翻刻
禁賣買
限五百部

西村氏藏



懸物圖鏡



正月

四季の掛花を實々氷の比定家
御所方の御好まへ京極黄門の十二月に

千一渡一尺三寸斗

花を乃歌の心紙系花を
造りて紙

糸の余り三尺斗



柳と玉用梅と用るる花美し
せんあはれん

柳

折あひき春々風のそがれあはれとて清ら

青柳のいと

鶯

春きくも幾日もあはれ戸出の春きかゝる

まゝのむし

二月

花を系手いれし生る鳥をかし給は
しとくも橋を白紙色むり糸玉の
系ハ五色のよりいと夏を
生糸と用ゆとぞん



櫛

うさ〜おの道り人のもた〜櫛た〜

雉

物人のあまの〜雉の白〜

お〜らん

五月



盧橘

郭らあ〜やさ月の宿る〜

水鶏

ほきの戸とあ〜水鶏のあげの〜

おの〜りか

軒のた〜

六月



常夏

おろこの目つけよみお月のまじりかき

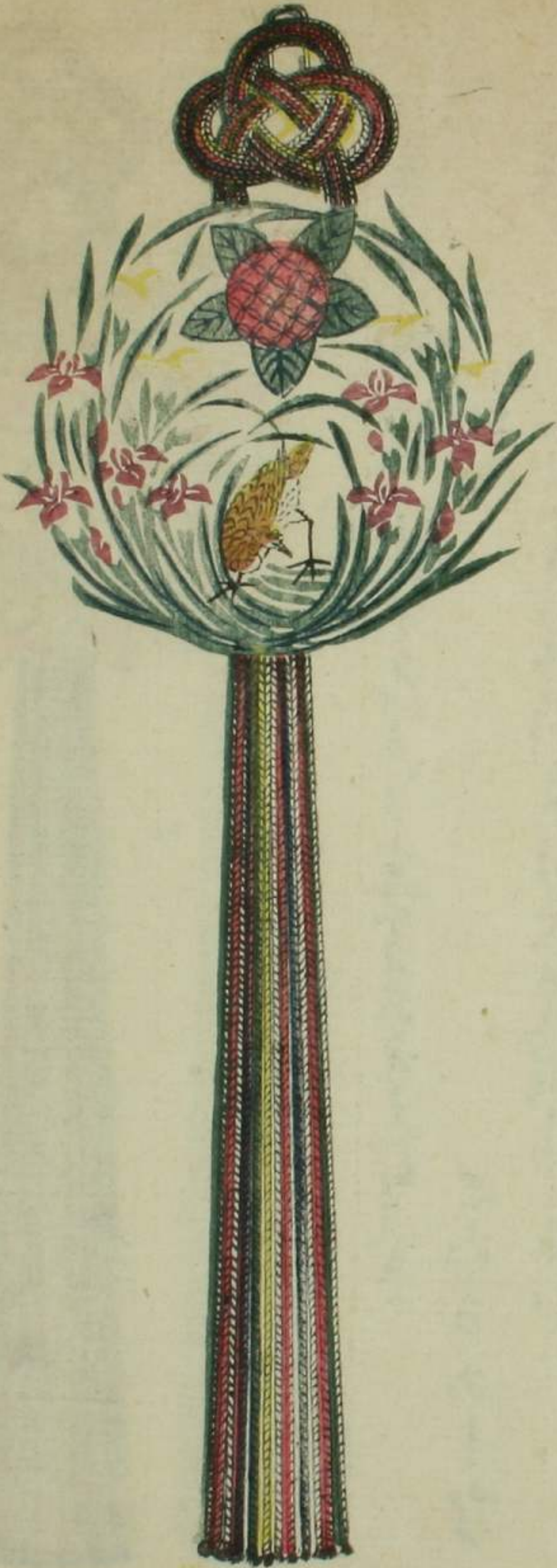
こまのまな

鶺鴒

みよ夜の鶺鴒よほらよおまき

みよ月のま

五月



盧橘

郭公あやさ月のるつねかき

軒のたらし

水鶏

ほきの戸をあき水鶏のあけおのよあまの

おのつりか

六月



常夏

おろこの日のはいふみさる月のまはりか

こさるのまな

椿

みさる夜の椿川よのほららるるまはりか

みさる月のま

七月



女郎花

秋さるあれあはれさるるまはりか

星合のま

鶴

長きおのほららるるまはりか

かみさるのま

八月



鹿鳴草

秋のけぬいさきさき

いんぎん

初鴈

はつあきは

初鴈

九月



薄

あつたき

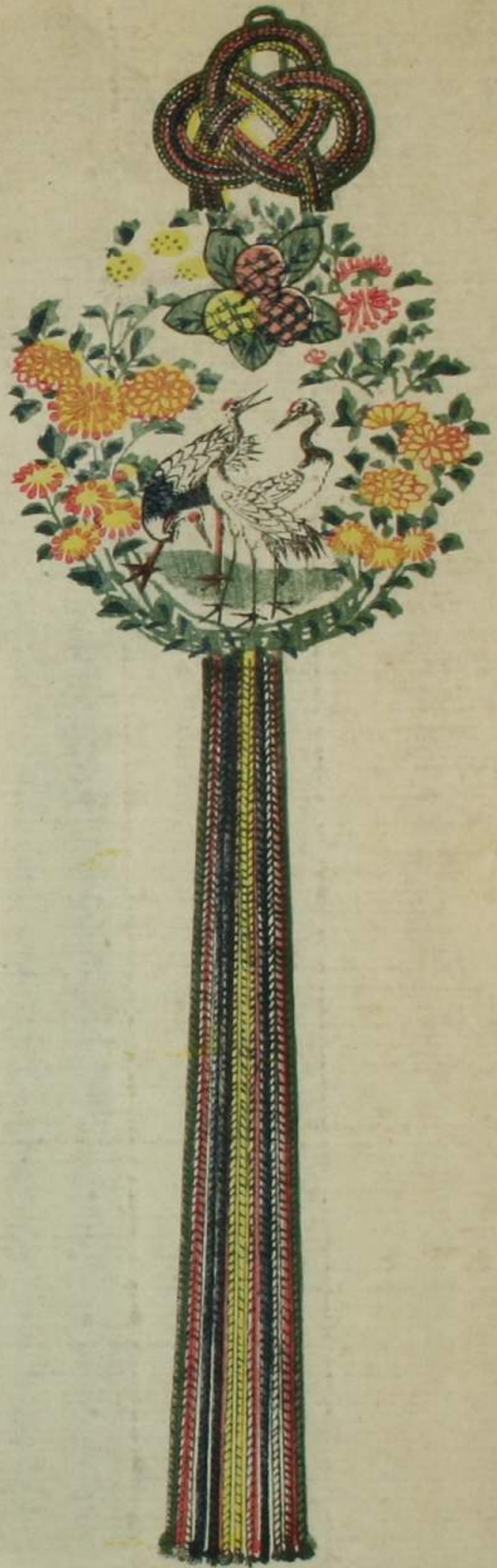
鶏

あつたき

あつたき

あつたき

十月



残菊

神を月霜夜の帯のふほまひの形を

何とてし

鶴

夕日のけしきを鶴いさしけしき

山のけしき

十月



枇杷

冬のはるの枇杷のこころを

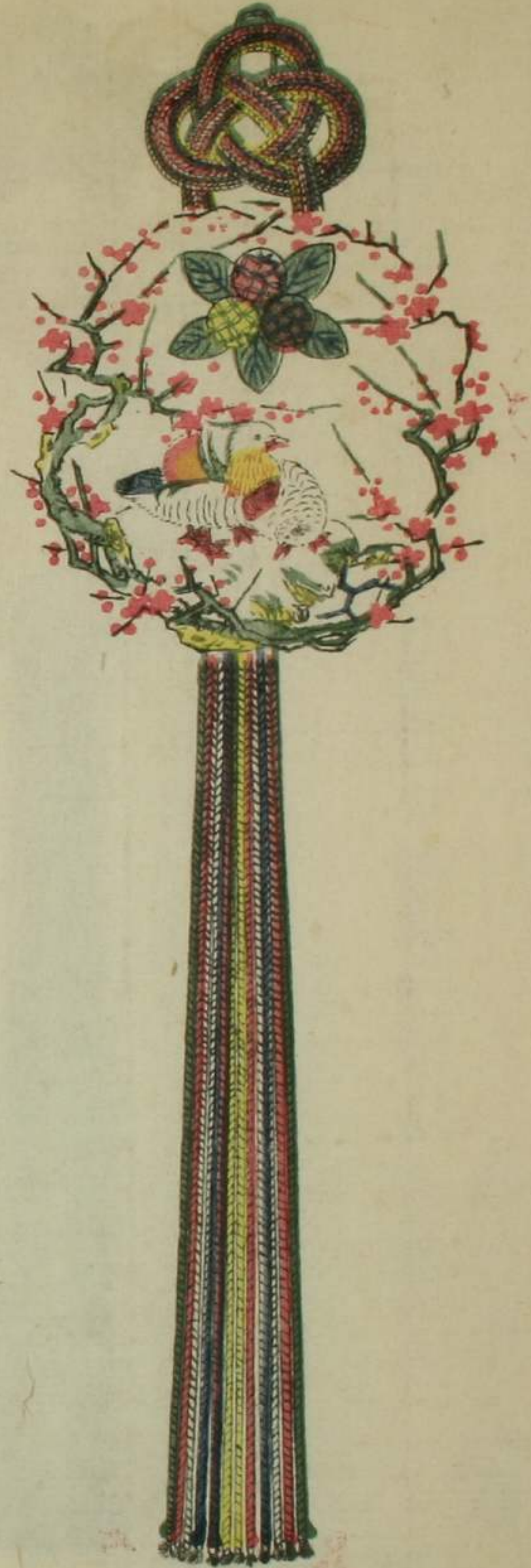
ふとゆくの

山

ふとゆくの山

山あひの袖

十二月



早梅

色うつむき糸のまの比き年の子なごよ

にわが梅のえ

水鳥

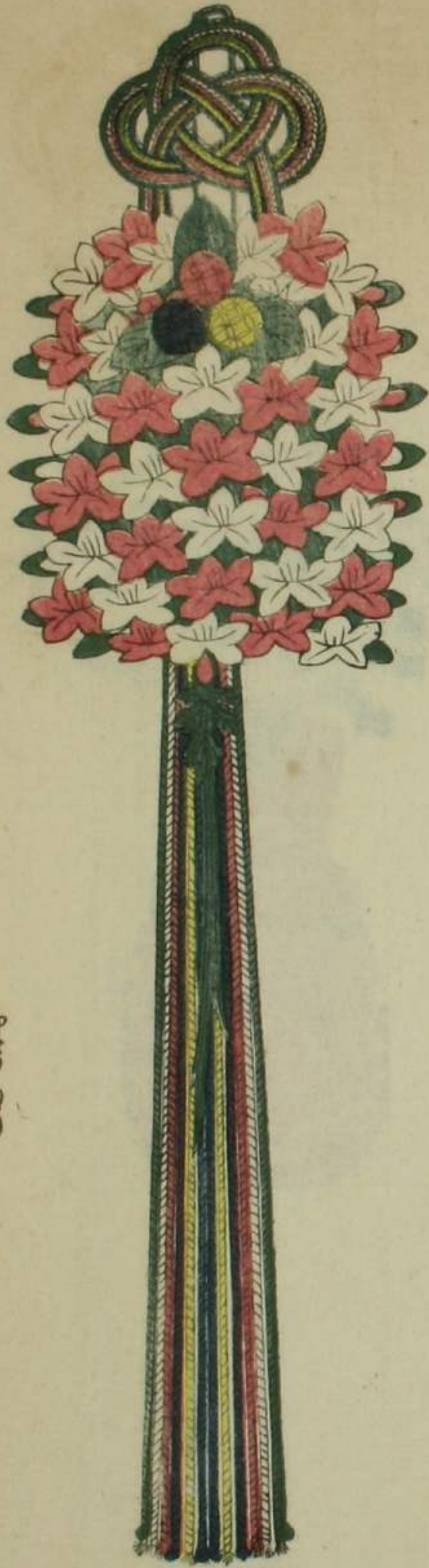
かすみさる波乃水はゆき雲のまなごよ

あやめけらるる

薬玉 くすりたま

長命縷 續命縷 五彩縷 避兵縷

大内よりハ五月廿日糸所より是となり去年の葉更子
魚智ら〜〜〜又五色の糸を臂にかけ兵を避〜〜
下〜〜も是と〜〜ハ糸と拂ひ形と〜〜



花ハいづれも〜〜〜橋より新橋より加〜以下の
〜〜〜を集めけみ細を〜〜〜なり糸ハ
長さハ尺半〜〜〜合ハ筋六色と用ゆ
或ハ十二筋九筋も子細〜〜又五筋も〜〜

茱萸囊

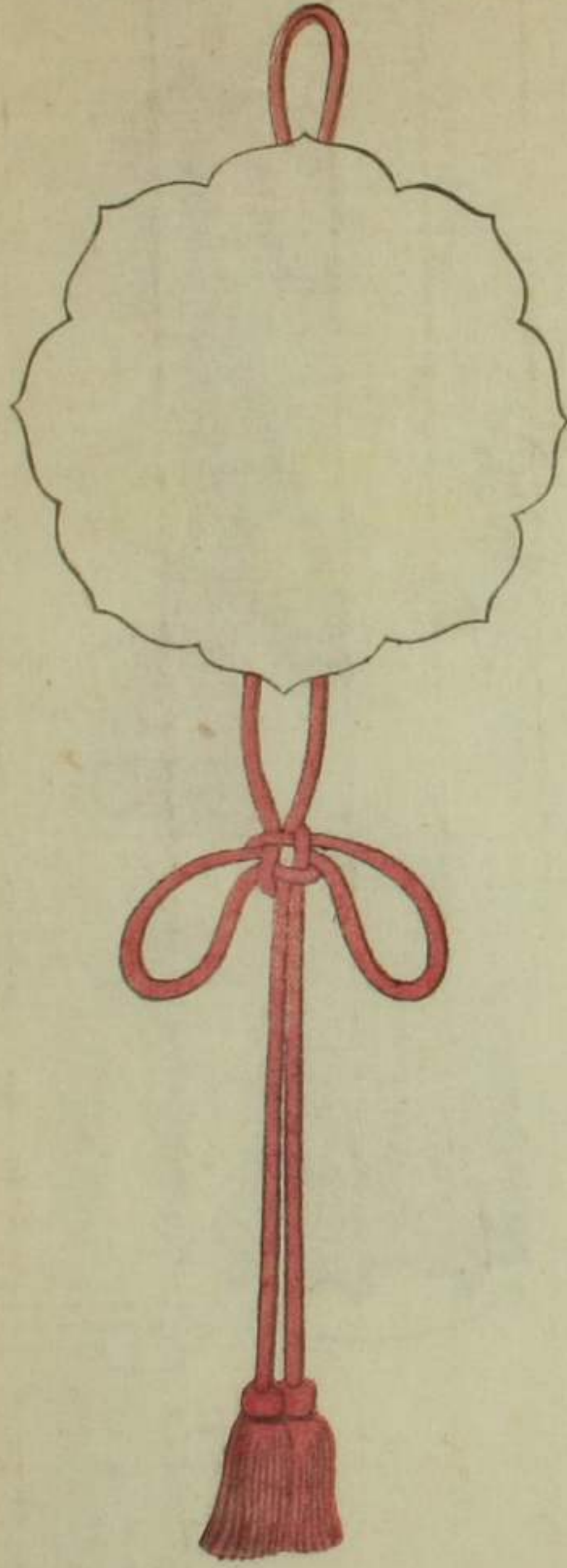
昔費長坊と云仙人茱萸囊を懸て古まよふ
 とあし堂上より御帳の左右よりけらるる



袋は綾あや又ハ羅深紅なり緒を安田あんだ打すハ
 祈り糸三つより長九尺半二重よりして結へ
 茱萸しゆじゆ兵ひょう吳茱萸ごしゆじゆを用ゆもちゆきあれも古くけか
 ちと造り糸きり葉を九つとす

鏡

鏡は懸る事御きおろしより堂上より御帳乃
 左右に懸る事ゆりてハ底飾る角ゆりも一つ掛
 けしつ竹床の上座の端よ懸て丸鏡を掛



犀角さいかく 掛角かかく

さしづの毒を消すの也。産補の飾り。ゆめあり
堂上にて御帳乃左およ右のゆめあり



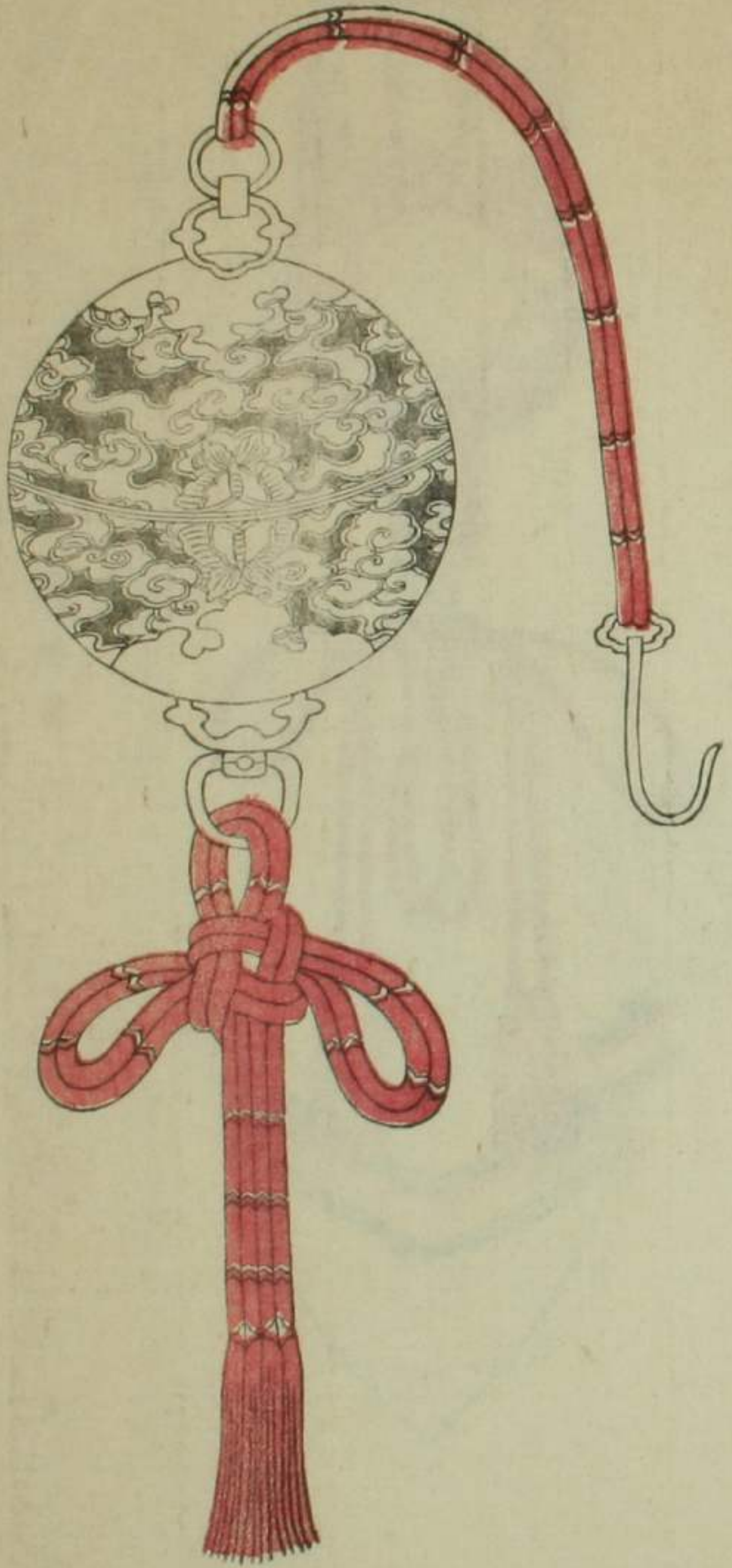
銀のあまのりらとけり

犀角はもやすいゆきさる物也。呪香をも
造り又扱ももつる。又は角に海字とさきみ
あるは紅紫の糸を細をすき。悪くはりの

釣つり香爐かうろ

魚香いさかうがよき

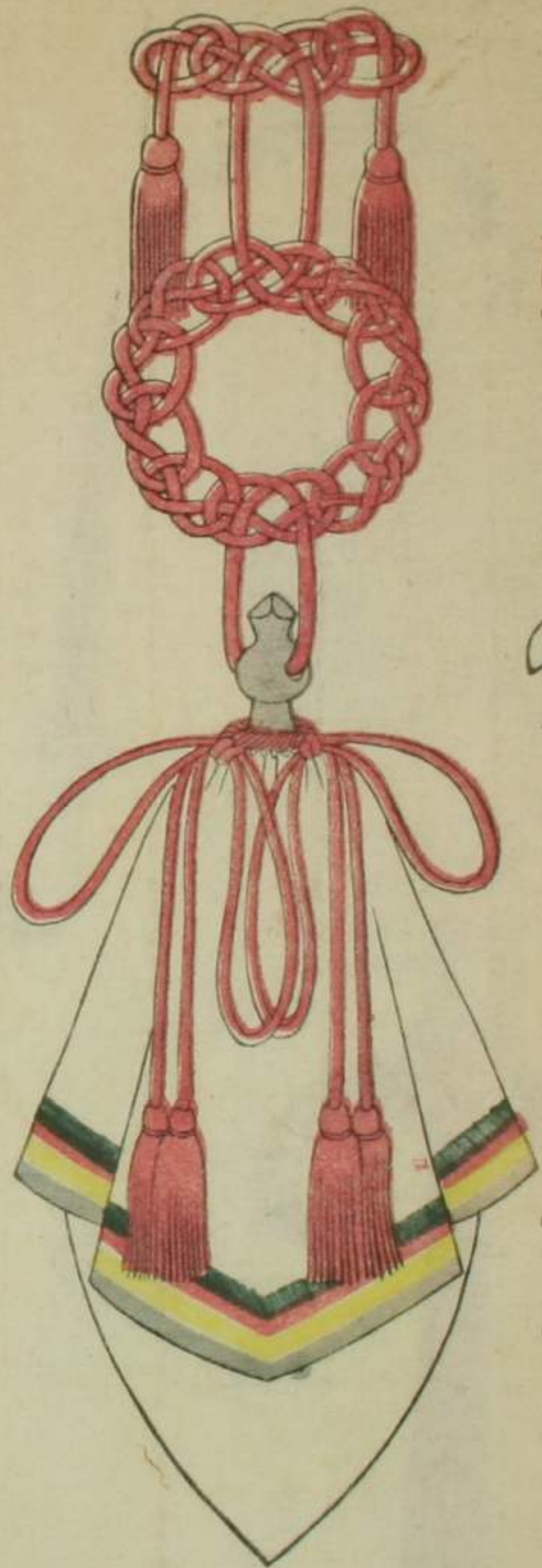
香は魚浄をならぶ。魚飾を用ひり。香炉の
かさうさめくま



これハ裏の蝶つがひあり。表は尾をあらわす
つくはあり

訶梨勒カライラク

慈照院殿御好して送らせ給ふるこれと靈綿レイワタ緩ゆるも
いふ訶梨勒無水毒とけし諸病と治とる又是を
浦つりて酒又香は氣とおさむるやむ



昔ハめけつあはる年と用ひし
よりかきり城く之路ふらん
東山殿



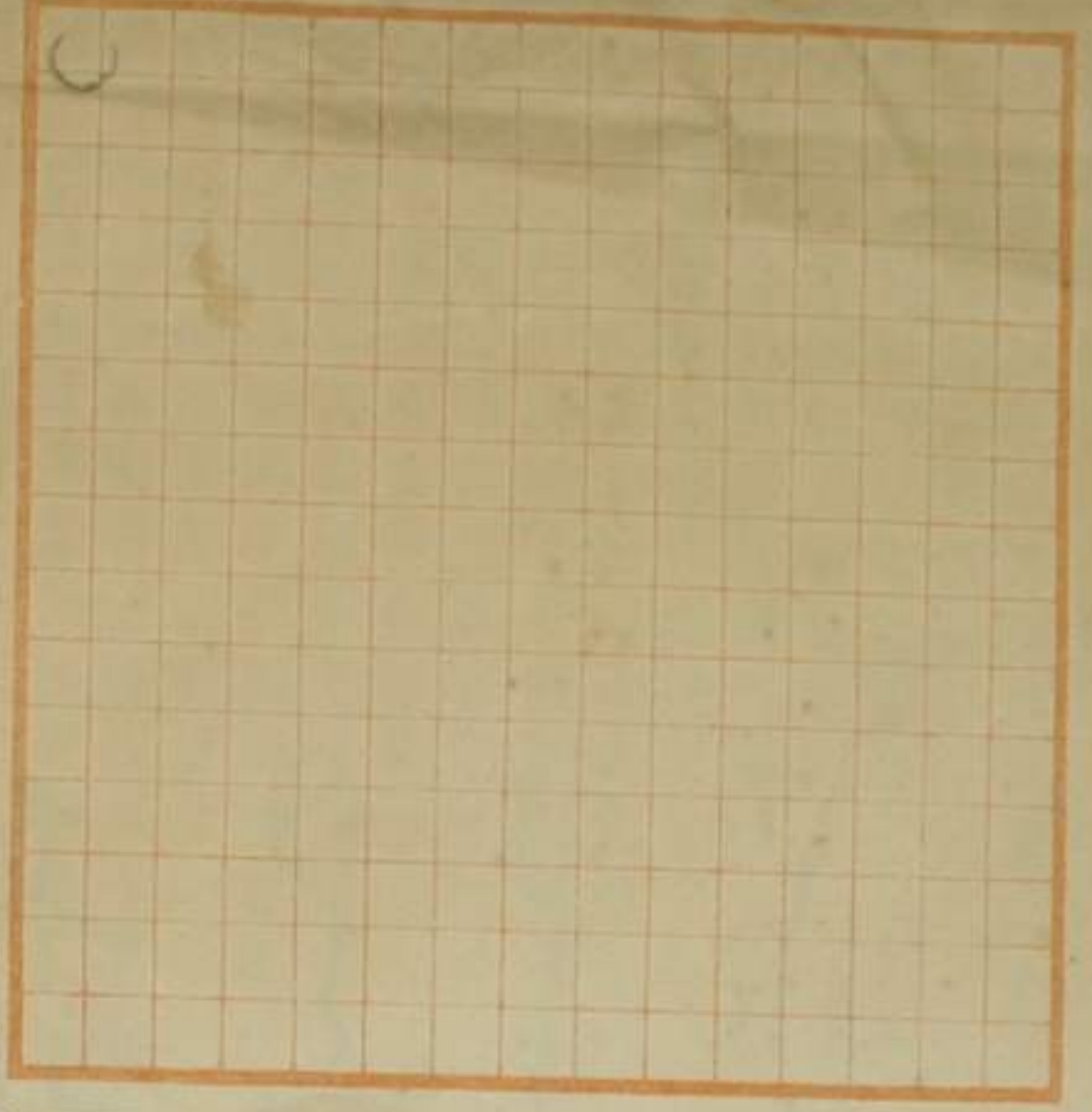
是とほすの因ハ入ふるの口とむまよ

振フリ

是は悪魔とよむ物とて年始り童子の形に
まゝあり又座蒲の飾も用とれん



裏ハ左義長の儀あり



此らあはれおぼき世の人れあはれ
 ちよとろなかりされとそれいふ
 へり侍りあはれいふへりあはれ
 へりしとあはれ人のあはれいふ
 へりとりあはれて一部のあはれ
 へりあはれいふとそあはれいふ
 へりあはれいふとそあはれいふ

三年七月

西村知備識

此の如くは、おぼろげに、
あつたところなり、されど、
いふに、
らり、く、し、と、わ、る、人、の、お、も、の、お、も、の、お、も、の、
い、ふ、に、お、も、の、お、も、の、お、も、の、お、も、の、
お、も、の、お、も、の、お、も、の、お、も、の、
り、い、ふ、に、お、も、の、お、も、の、お、も、の、お、も、の、

文化三年七月 西村知備識

